

# 旅立つ人に木の癒やし

## 松山空港 県産材ベンチなど設置

松山市南吉田町の松山空港で28日、愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」を利用して製作したベンチとテーブルのお披露目式があり、関係者約50人が完成を祝った。県産木材をPRしようと、県木材協会が計73台を製作し、国内線出発・到着ロビーと憩いの広場の3カ所に配置。利用者の利便性を考慮し、ベンチは子どもが靴を脱いで遊べる広いサイズなど4種類、テーブルも荷物整理がしやすい高さなど2種類を用意した。

出発ロビー前であった式典で、同協会の井関和彦会長が「県内外や国外からも人が訪れる空港では県産材を効果的にPRできる。木材の温かみを感じてほしい」とあいさつし、松山空

港ビルの清水一郎社長に目録を贈呈した。



清水社長は「愛媛国体に向けて、空の玄関口の利便性を上げて美しくしたいと思っていた。ロビーの印象もずっと明るくなり、利用者が快適に過ごせるはず」と話した。  
(河端渉)

松山空港に設置された愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」を使ったベンチとテーブル＝28日午後、松山市南吉田町